

長岡京左京七条二・三坊跡（水垂G1区） 発掘調査現地説明会資料

- ・遺跡 長岡京跡（左京七条二坊十六町・七条三坊一町・東二坊大路・六条大路）
- ・所在地 京都市伏見区水垂町
- ・調査期間 1990年7月9日～現在継続中
- ・調査面積 4500㎡
- ・調査主体 （財）京都市埋蔵文化財研究所

1. はじめに

この調査は京都市清掃局の埋め立て処分地の拡張工事に伴うものです。ここは1200年前の都〔長岡京〕の南東部にあたります。そこで、1990年4月～6月にかけて試掘調査を行い地下に眠る遺構の状態を調べました。その結果、予想通りに長岡京の道路跡などが見付き、さらに、古墳時代（1500年前）の水田跡も確認できたので本格的な発掘調査を行うことになりました。

調査予定地は全体で13ヘクタールと広大な面積に及びます。今回は予定地の最も南側の地区（G1区）を対象として調査を行っています。ここでは、長岡京の東二坊大路（平安京の西洞院大路にあたる南北道路）と六条大路（東西道路）の交差点付近の状況が明らかになりましたので紹介します。

2. 発見した遺構と遺物

東二坊大路

調査地の両端を南北に並行してのびる二本の溝が道路の側溝（排水溝）と考えられ、この間が路面にあたります。道路の幅は24m（約80尺）あります。

側溝はいずれも幅1m、深さ20～30cmで南へ向かって排水したようです。これらの溝からは土器（土師器・須恵器）などがわずかにみつかっています。

六条大路

調査地の北西部で確認した東西に並行してのびる二本の溝が道路の側溝と考えられ、この間が路面にあたります。道路の幅は10m（約33尺）です。

北側溝は幅1m、深さ20cm、南側溝は幅80cm、深さ10cmで、いずれも東二坊大路の

西側溝へ排水したようです。これらの溝からは土器（土師器・須恵器）がわずかにみつかっています。

また、六条大路が接する東二坊大路の西側溝には、この部分にだけ杭や板材を用いて岸を保護しており、このことから小さな橋が架かっていたことを想像させます。

河川

調査区の北部を北西から南東方向に流れる河川で、東二坊大路と六条大路の交差点を斜めに横切るように流れています。幅は10m、深さは1mですが、土の埋まった状態をみると時期によって多少規模が変化していたようです。河川には水量を調節したと考えられるしがらみ状の遺構や岸部を保護すると考えられる杭列も認められます。河川の中からは多くの土器や木製品が出土しましたが、特に、人面墨書土器（側面に墨で人の顔を描いた土器）・ミニチュアのかまど（かまどの模型）・土馬（馬の模型）人形（ひとがたー板材を人の形に加工したもの）・獣骨（馬の骨）などがたくさんみつかっています。

橋

道路の交差点付近で河川に架かる橋で、橋脚（橋を支える柱）と材の一部を発見しました。規模は桁行2間（長さ5.4m）、梁行2間（幅5m）です。9本の橋脚で支えていたと考えられますが、北側中央の1本が失われています。橋は道路に対して斜め方向に架かり、平面の形もやや歪んでいます。

3. まとめ

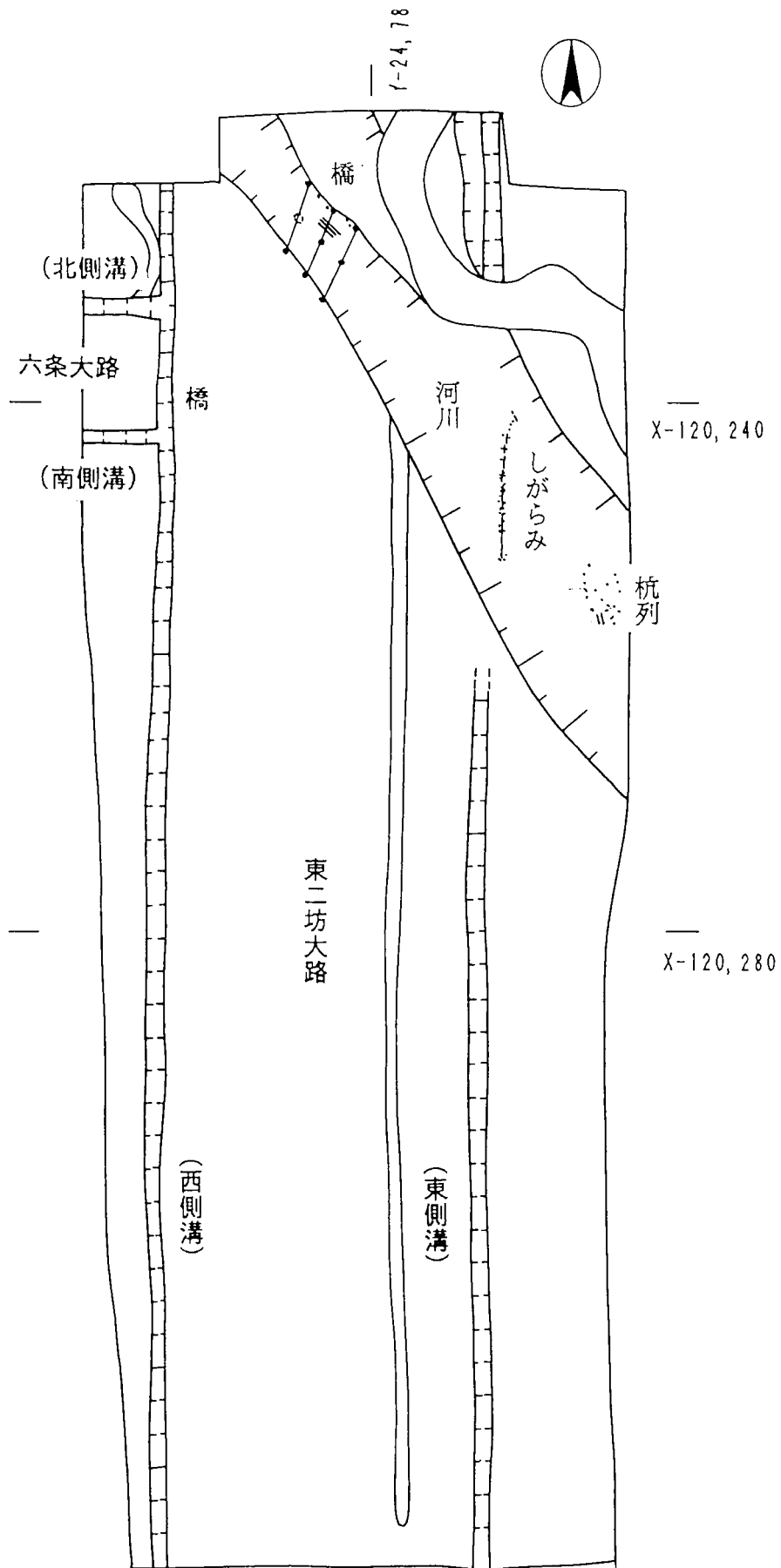
ここでは今回の調査の成果を大まかにまとめておきます。

第一は、ほぼ推定通りに東二坊大路と六条大路が確認でき、また、交差点を横切る河川やそれに架かる橋などが発見できたことです。これによって長岡京の条坊の様子がより具体的になりました。

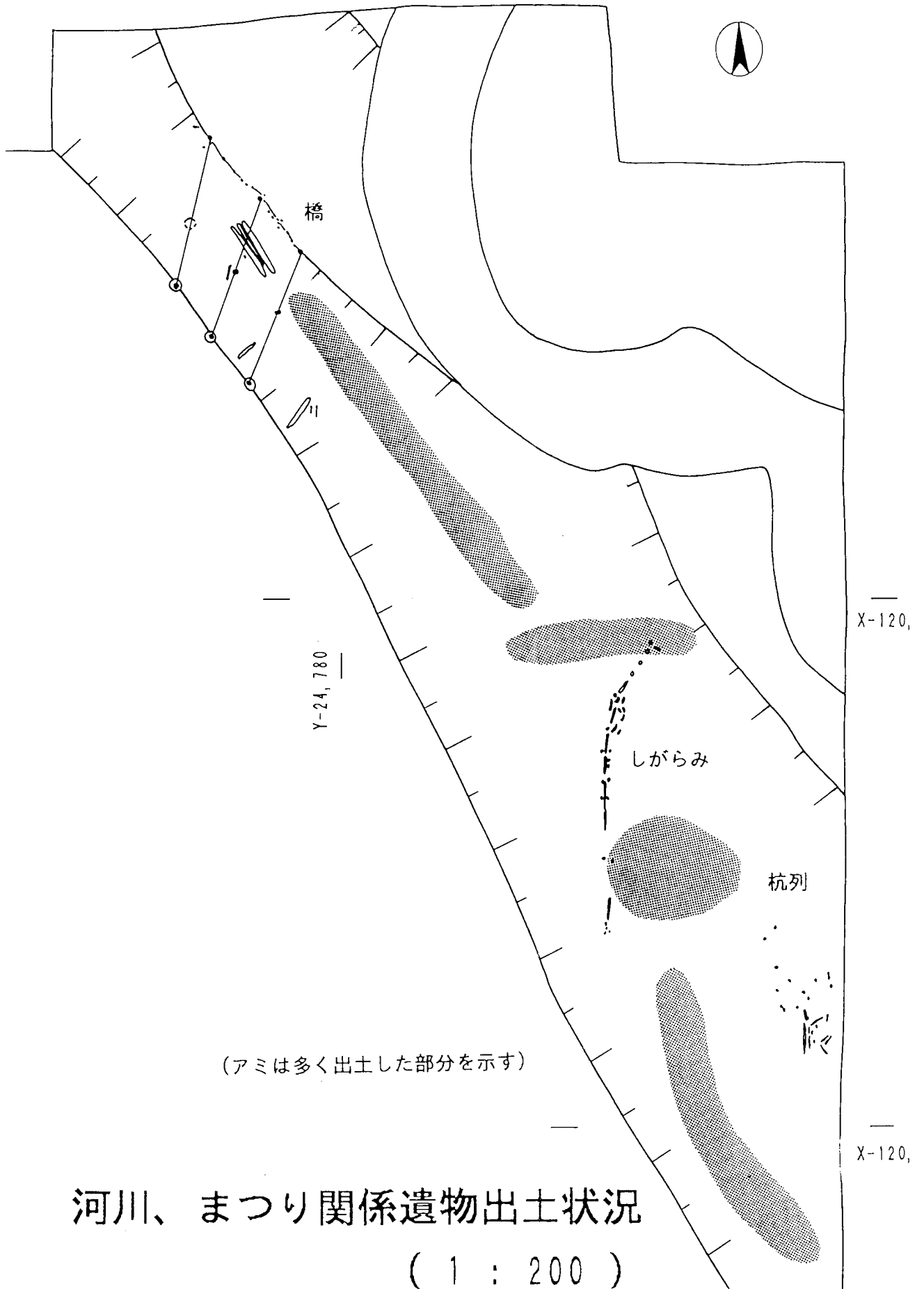
第二に、河川から多量の遺物が見つかり、その多くが人面墨書土器・ミニチュアかまど・土馬などまつりに用いたと考えられるものであったことです。当時のまつりの様子を知る手がかりとなりました。

第三に、これらの遺構や遺物が今までの調査の常識を破り、海拔8.5m以下という低いところで発見できたことです。今後行う長岡京の調査に関して、大きな意味を持つこととなるでしょう。

調査は引き続いて行われます。また、新たな発見があるかもしれません。ご期待下さい。

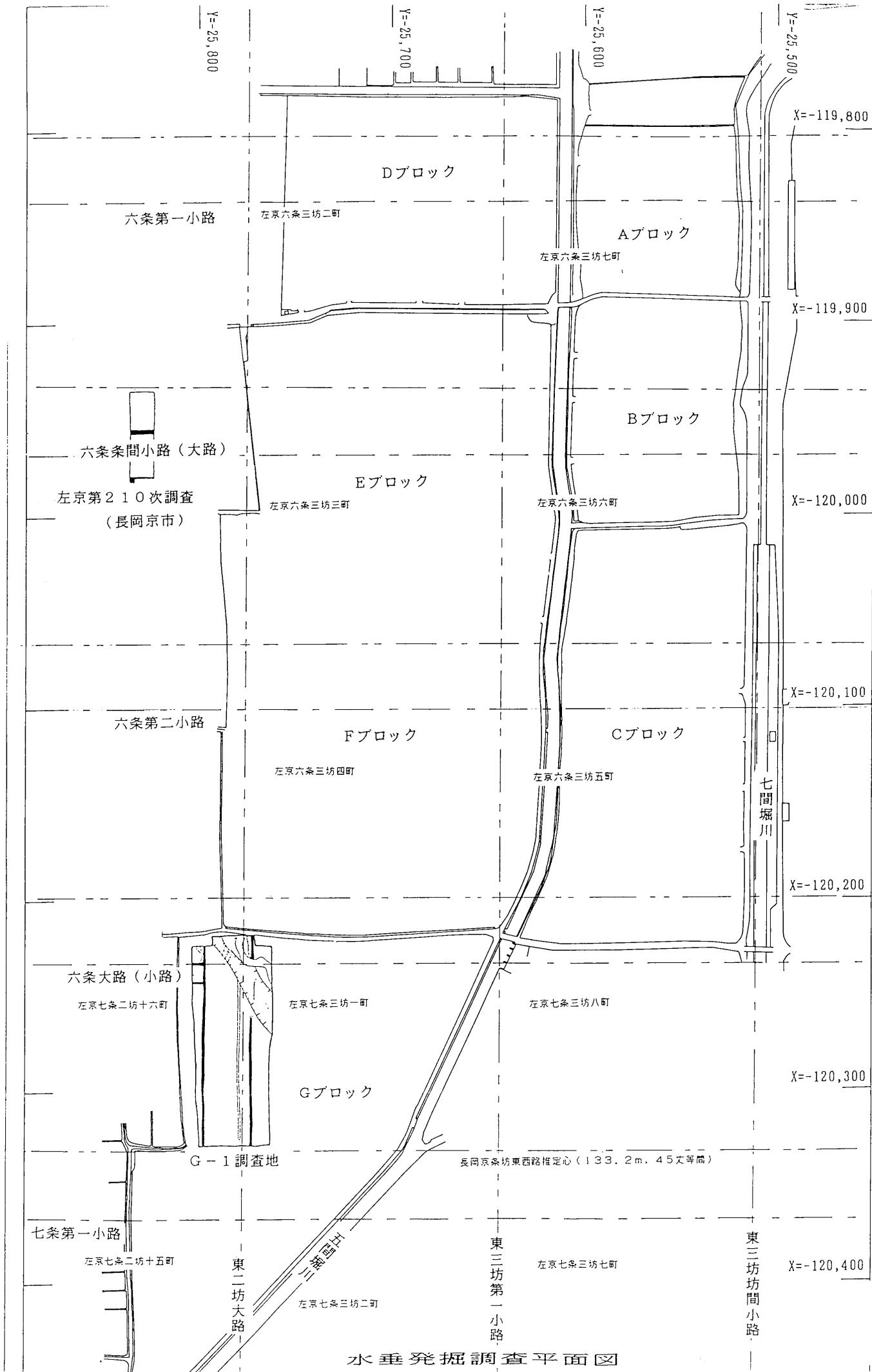


遺構略図 (1:500) |



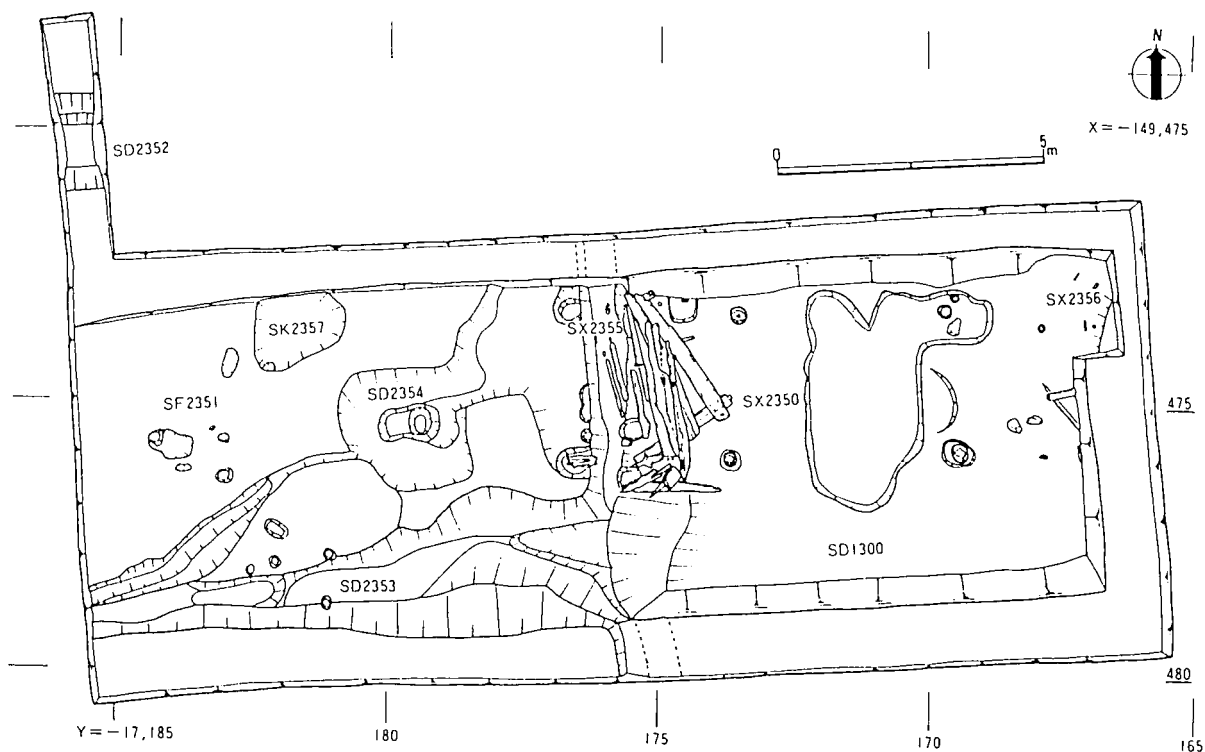
河川、まつり関係遺物出土状況

(1 : 200)

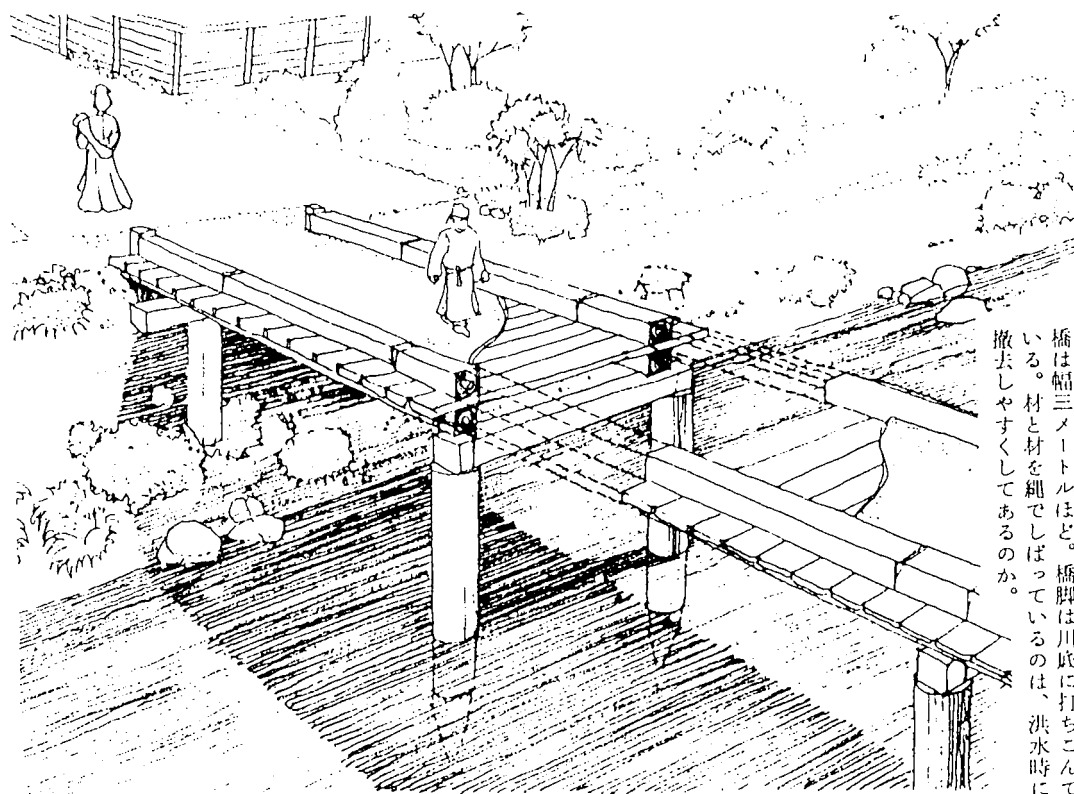


水垂発掘調査平面図

平城京跡九条三坊（堀川）発見の橋跡と復原図



【平城京東堀河 左京九条三坊の発掘調査】奈良国立文化財研究所1983.3 より



左京九条東堀河の橋 平城京の南端近くはこの橋は幅三メートルほど。橋脚は川底に打ちこんでいる。材と材を縄でしばっているのは、洪水時に撤去しやすくしてあるのか。

【古代日本を発掘する-3 平城京】岩波書店より

東二坊大路調査例

No.	側溝	左京次数	座標 X= -	座標 Y= -	幅(m)	検出関連遺構	調査機関
1	東	第89次	117,330.00	25,766.85		南一条条間大路南側溝	向日市教育委員会
2	東西	第100次 第218次	117,536.00 117,581.00	25,766.20 25,791.00	24.80	南一条条間大路南側溝	向日市教育委員会
3	東	第248次		25,766.00			(財)向日市埋蔵文化財センター
4	西	第162次	117,807.30	25,790.25		二条条間大路南側溝	(財)向日市埋蔵文化財センター
5	西東	第196次	118,056.00 118,056.00	25,791.00 25,767.20	23.80	二条大路(小路)両側溝	(財)向日市埋蔵文化財センター
6	東	第221次		25,767.70			(財)向日市埋蔵文化財センター
7	西	第144次	118,341.00	25,791.65		三条条間小路(大路)南側溝	(財)向日市埋蔵文化財センター
8	東	第241次					(財)京都市埋蔵文化財調査研究センター
9	西東	第164次	118,908.00 118,908.00	25,795.90 25,771.40	24.50		(財)京都市埋蔵文化財研究所
10	西東	第87次	119,591.00 119,591.00	25,796.83 25,772.33	24.50		長岡京市教育委員会
11	西東	第251次	120,280.00 120,280.00	25,796.20 25,771.50	24.70	六条大路(小路)両側溝	(財)京都市埋蔵文化財研究所

六条大路(小路)調査例

No.	側溝	左京次数	座標 X= -	座標 Y= -	幅(m)	検出関連遺構	調査機関
11	南北	第251次	120,242.50 120,232.70	25,800.00 25,800.00	9.80	東二坊大路両側溝	(財)京都市埋蔵文化財研究所
12	北	第245次	120,231.90				長岡京市教育委員会

道路に架かる橋跡調査例(長岡京)

No.	検出位置	構造	調査次数	調査機関
1	東一坊大路と宮内河川	橋脚2本	左京第87次	向日市教育委員会
2	南一条条間大路と東二坊大路	杭列組	左京第89次	向日市教育委員会
3	町内中央溝と東二坊大路	杭列組	左京第22次	向日市教育委員会
4	三条第一小路と西二坊大路	杭列組	右京第26次	長岡京市教育委員会
5	東二坊大路と京内河川 六条大路(小路)と東二坊大路	橋脚9本(2×2) 杭列組	左京第251次	(財)京都市埋蔵文化財研究所

*各報告書・未報告のものは長岡京連絡協議会資料より作成